

展示施設

「京のまちかど」 案内ボランティアさん紹介

Vol.3

河田 久章さん



このコーナーでは、京都市景観・まちづくりセンター（以下「まちセン」）1階にある展示施設「京のまちかど」で、展示案内をされているボランティアさんをインタビューにより紹介します。

今回は、ボランティア歴10年、京都百人一首・かるた研究会の代表も務められている河田久章さんです。

Q 河田さんの出身はどちらですか？

私はソウル生まれで、戦後に引き揚げ主に東京で育ちました。小さいころから百人一首が好きで、職をリタイア後、念願叶って百人一首が誕生した京都へ引っ越してきました。

Q 展示ボランティアを始められたきっかけは？

まちセンとは、以前から関わりがあったのですが、あるとき、職員の方に「ボランティアをやってみませんか？」と声を掛けられたことがきっかけで始めました。私は、京都アスニーでも解説員として、また、百人一首の講座も開いています。百人一首は、主に平安時代の京都が中心で、百人一首をやるからには、“京都のことを知らなければならぬ”という思いから、平安時代のごとは京都アスニーで、そして京都の歴史全般のごとはまちセンで学ぶためボランティアをしています。

Q 百人一首の活動について教えてください

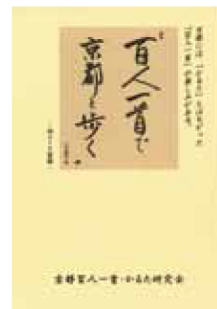
京都百人一首・かるた研究会では、百人一首のゆかりの地を巡る“百人一首で京都を歩く”というツアーなどを通して、百人一首の歴史や魅力を伝える活動をしています。ツアーを始めて、これまでに46のコースを完成させました。

Q 京都のどんなところに魅力を感じますか？

京都は、百人一首に関係する場所や歌人ゆかりの地が数多くあります。いろいろな楽しみ方ができ、また、大学や博物館に行けば史料が数多く公開されており調べられることもできる、“全てがいい”まちです。

Q 河田さんが得意な時代は？

やはり平安時代ですね。京都に都ができて1200年。このうち一番長い400年のことを知らなければ京都のごとはわかりません。お越しいただいた方には、百人一首の話も交え、詳しくご説明します。



Q 「京のまちかど」には、どんな楽しみ方がありますか？

修学旅行生が見学に来たときに話しているのは、京都タワーに登って見て、その後、京のまちかどで京都市の航空写真を見てほしいということです。これで、ものすごく京都のごとがわかるので、ぜひ、修学旅行のコースにしてほしいですね。